

平成 29 年度 第 1 回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会概要

○日時：平成 29 年 9 月 20 日（水）19 時 00 分～20 時 30 分

○場所：県庁舎 2 8 階 2 8 1-B 会議室

○出席者：群馬県慢性腎臓病対策検討委員 計 14 名

事務局 保健予防課・医務課 計 7 名

配付資料

- ・ 次第
- ・ 協議会設置要綱・委員名簿
- ・ 資料 1 - 1 平成 28 年度群馬県慢性腎臓病対策資料
- ・ 資料 1 - 2 平成 28 年度研修会アンケート結果
- ・ 資料 1 - 3 ホームページ閲覧数・CKD シールのファイルダウンロード数
- ・ 資料 2 - 1 平成 29 年度慢性腎臓病に関する健康フェスタ資料
- ・ 資料 2 - 2 平成 29 年度慢性腎臓病県民公開講座資料
- ・ 資料 2 - 3 平成 29 年度保健医療従事者向け研修会資料・

○会議内容

1. 開会

2. あいさつ

群馬県健康福祉部保健予防課長

平成 24 年度に本協議会を発足し、今年度で 6 年目を迎えた。本日は主に、慢性腎臓病に関する普及啓発事業や人材育成などについて、御協議いただく予定である。限られた時間の中での協議だが、委員の皆様方には、忌憚のない御意見をいただきたい。

群馬県慢性腎臓病対策推進協議会長

全国的に慢性腎臓病対策は定着しつつあるが、一般県民にとって慢性腎臓病の理解度はまだ高くない状況である。今後も、一般県民又は患者に向けて適切な予防或いは治療を啓発していけたらと思う。昨年度から健康フェスタを開催したが、今年度も 3 月に開催を考えているので、委員の皆様にはしっかりと議論していただきたい。

3. 委員紹介

4. 議事

(1)報告事項

平成 28 年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告

説明概要

- ・事務局より資料 1 - 1、1 - 2、1 - 3 を基に説明
- ・平成 28 年度の実績は、協議会を 1 回、健康フェスタを 1 回、保健医療従事者研修を 3 回開催した。
- ・健康フェスタは、3 月 11 日(土)にイオンモール高崎で行った。公開講座をイオンホールで、セントラルコートにて健康コーナーを設けた。
- ・保健医療従事者向け研修会は、9 月 11 日(木)に「基礎知識」、1 月 22 日(日)に「食事療法」、3 月 14 日(火)に「患者教育のポイント」をテーマに 3 回開催した。
- ・県のホームページ閲覧数は、平成 27 年度は 2379 件・平成 28 年度は 2843 件であった。

< 質疑・意見 等 >

・平成 28 年度健康フェスタについて

(廣村会長) 多くの委員の方に参加いただいた。イオンモール高崎で開催したこともあり、無関心層や若年者の参加があった。

(岡委員) 公開講座よりも健康コーナーのブースの方が関心を持って参加していた印象がある。

(溜井委員) 各職種での相談業務や、塩分クイズを行った。さらに、食前・後の血糖を測定したことにより、腎臓病に興味がない方でも来ていただけるようにした。

(川島委員) 今回は多くの人に参加いただいた。今後も色々な形で多くの方に普及啓発を進めて行ってほしい。

(田尻委員) 所用で欠席したが、お薬相談は大変盛況でたくさんの人に来ていただき、配布物が無くなったと聞いている。

(小川委員) 血圧測定等を行った。参加者との会話の中で、健康に対する意識は持っているが、腎臓病に関してはもう一歩な感じがした。腎臓病に特化することは大事である。

(塚越委員) 栄養相談を行った。参加者の年齢層は幅広かった。特に、適切な野菜摂取が難しいと意見があり、適切な野菜摂取量について指導を行った。

(清水委員) 臓器移植の意思表示についてメインに話した。150 人ほどお話しした。

(事務局) 3 月 11 日はホワイトデーのイベントと重なり参加者は多い印象であった。また、健康コーナーと公開講座を同時に行うことで、運営が大変であったが、公開講座に興味を持ってない人が健康コーナーに参加することで公開講座に興味を持つ人がいたのは良いことだった。

・平成 28 年度市民公開講座について

(廣村会長) 例年、公開講座の周知は、はがきで送っていたが、今回は上毛新聞の広告を中心に行った。参加者が少なくなるのではと心配したが、ほぼ満員であった。アンケート結果から、参加者は日常生活の食事内容に関して関心があることから、今後食事に関

して充実していきたいと思う。

(岡委員)糖尿病の方々にも参加していただけたらと思う。

(廣村会長)糖尿病は透析予防の面で重要である。今後、群馬県糖尿病対策協議会と連携して行ければと思う。

・平成 27 年度保健医療従事者向け研修会について

(廣村会長)第 1 回の研修会の講師をしたが、参加者は熱心に聴講していた。

(事務局)栄養指導編に関して、患者が講師として実際の食事について話があり、患者側のコントロールの話が聞いて良かったと考える。

(溜井委員)日高病院の栄養指導の話や、良くなれないから治療中断する人に対して、上手に励ましながら、悪くなっても自暴自棄にならないような治療のコツと精神的支えのコツ等をお話した。

・CKD シールについて

(廣村会長)それなりにホームページは閲覧されているが、まだ十分活用されていない印象である。

(田尻委員)シールの普及に努めているが、まだまだ普及はしていない印象である。

(川島委員)シールを貼るだけでなく、CKD に対する患者の理解が大切。高齢者は理解が難しい。今後も普及啓発していきたい。

(廣村会長)病診連携等で活用できればと良いと思う。

(2)協議事項

平成 29 年度群馬県慢性腎臓病対策事業について

慢性腎臓病に関する健康フェスタについて

慢性腎臓病県民公開講座について

説明概要

- ・事務局より資料 2 - 1、2 - 2 を基に説明
- ・今年度もイオンモール高崎にて健康フェスタを開催する予定。3 月 3 日(土)を候補日としている。後日、意向調査を行うが、ご意見があれば伺いたい。
- ・昨年度は健康フェスタと公開講座を同時開催としたが、今年度は健康フェスタと別日程で行う。公開講座は 3 月 17 日(土)桐生市市民文化会館で行う予定である。

質疑・意見 等

(岡委員)とても人手がいるので今年度は増やす予定である。

(川島委員)ちょっとしたイベント等を合間に検討して頂ければと思う。

(廣村会長)腎臓に関連するクイズがあれば良いと思う。他のフェスタで行っているか。

(事務局)食育・タバコのフェスタの際はミニステージでクイズやミニ講話を行っている。
(廣村会長)クイズを検討していただければと思う。
(小川委員)腎臓病のクイズを取り入れるのは良いと思う。
(事務局)ぐんまちゃんグッズの作成を検討している。ノートやメモ帳等のすぐに捨てない自分の手元にある物が良いかと考えている。
(廣村会長)血压手帳とかは。今後のスケジュールは。
(事務局)出来るだけ早い時期に出店希望と内容を教えていただきたい。11月中を目処に。事前打ち合わせは1月頃を予定している。
(廣村会長)県民公開講座の周知は、広告チラシ等を予定している。

保健医療従事者向け研修会について

説明概要

- ・事務局より資料2 - 3を基に説明
- ・今年度の保健医療従事者研修会について、1回目は9月28日(木)に群馬大学腎臓・リウマチ内科の諏訪 絢也先生・木下 雅人先生を講師に、「慢性腎臓病の病態生理に関する基礎知識」をテーマに開催する。9月25日(月)に糖尿病に関する研修会を行う。
- ・今年度3回開催する予定で、2回目は年明け(1月)、3回目は年度末(2~3月)に行う予定である。2回目は栄養指導に関すること、3回目は1回目を踏まえた応用編を行う予定である。具体的な内容や講師等は未定の状況である。

質疑・意見 等

(塚越委員)2回目の栄養指導編について、腎臓病の方は年齢層や糖尿病や高血圧に罹患している等幅広いので、幅広く指導できる方はどうか。
(事務局)栄養士会医療事業部と相談し検討していきたい。
(柳沢委員)第3期特定健診・保健指導でクレアチニンが入り慢性腎臓病対策が重要となっている。
(事務局)第3期に向けた慢性腎臓病対策を話せる講師が良いと考えている。
(廣村会長)行政又は診療所等で健診を行っている医療従事者向けに研修会が出来ればと良いかと思う。
(事務局)検討していきたい。

(3)その他

(武智委員)安中市のそらまめ教室で講師を行った。健康フェスタでポピュレーションアプローチも大事だが、ハイリスクアプローチも大事だと考える。
(樋口委員)慢性腎臓病に特化した対策は進んでおらず、主に糖尿病予防で人工透析にならないような対策で1次予防をメインに行っている。糖尿病等で、治療が必要なのに

放置している方に、訪問等で受診勧奨をはじめているところである。慢性腎臓病が話題になり透析予防が広がればと思う。

(書上委員)健康フェスタの周知等協力できる部分は協力したい。

(関根委員)健康フェスタを群馬県各地で行えば群馬県内全体に広がるかと思う。

(岡委員)特定健診に関して、健診を受診し受診勧奨レベルだったので、受診勧奨し病院を受診したが帰されてしまうことがあると保険者から聞いている。

(廣村会長)地域毎や年齢等を考慮し勧奨基準を決めることが大事である。

(川島委員)病院どこでも同じ対応は難しく、特に第3期特定健診から腎機能も入ってくるので、手挙げ方式等で病院を選定することが望ましい。

(事務局)糖尿病性腎症重症化予防プログラム等もあるので、市町村においては地区医師会・かかりつけ医等と連携していただければと思う。

(廣村会長)受診勧奨による受診者に対して定期的に通院する必要があると判断される場合でも、医師はただ帰すのではなく、引き続き毎年健診を受けるように勧める等の対応が必要かと思われる。医師会と行政が連携しながら進めればと思う。

(溜井委員)10月22日(日)にイオンモール高崎で腎臓病教室を行う。

5. 閉会